

偉人展第7弾・渡辺啓助顕彰展 渋川で暮らしたミステリー作家を紹介



3月8～26日までの14日間、市役所本庁舎と第二庁舎で渋川の偉人展第7弾「渡辺啓助顕彰展」が開催されました。旧制渋川中学校で教鞭をとり、戦後は渋川に9年間疎開していた渡辺氏は、日本における推理小説の草分け的存在です。顕彰展では、著作や本人が描いたカラスの絵などとともに、江戸川乱歩や横溝正史らとの交流の様子を示す写真などが展示されました。



渋川公民館の「家庭教育支援学級」 利根川にヤマメの稚魚を放流



3月9日に白井地区の利根川の河川敷で、渋川公民館の家庭教育支援学級として、ヤマメの稚魚の放流が行われました。阪東漁業組合の協力で行われた事業には、渋川幼稚園の親子38組が参加。体長約7cm、約2,000匹の稚魚を放流した園児たちは、泳いでいく稚魚に向けて「大きくなってね」と呼び掛けていました。

北橋歴史資料館友の会講演会 石仏の宝庫“群馬県”を再発見



3月6日に北橋歴史資料館で、同館友の会による講演会が開催されました。講演は、講師の角田尚士さんが「群馬県の特徴ある石の神さま・仏さま」と題して、県内の石仏について解説。参加者は、角田さんが撮影した100枚以上の写真を見ながら、石仏の種類や特徴を知り、群馬が石仏の宝庫であることに驚いていました。

自動運転バス公道実証実験出発式 自動運転導入に向け実験開始



当日の様子は
こちら

2月22日に渋川駅前の西口ロータリーで、自動運転システムを搭載した路線バスによる、公道実証実験の出発式が行われました。県と群馬大学、関越交通(株)の連携により、自動運転バスが市内循環のバス路線を臨時便として運行。一部を除き、人がアクセルやブレーキ、ハンドル操作をすることなく、バス停間を自動走行しました。



温泉旅館の「バリアフリー点検」 車いすに乗って不便なポイントを確認



2月19日に伊香保温泉の塚越屋七兵衛で、旅館のバリアフリー点検が行われました。参加者は、バリアフリー情報を地図に登録するアプリ「Wheel Log」の使い方を学んだ後で、旅館の中を車いすで移動し、注意が必要な所を確認。「どこにどんな段差があるかを知ること、誰もが旅行に行きやすくなる」という講師の言葉を受けて、なるべく詳細な情報を記録していました。



ホストタウンサミット2021 ホストタウン自治体の取り組みを学ぶ



2月20日に、全国のホストタウンが取り組みの成果を発表する「ホストタウンサミット2021」が、オンライン中継により行われました。福島県郡山市が、ハンガリーへのおもてなし料理として、同国で日常的に食べられているコイを使った料理を披露。試食した人は、「臭みもなく、食べやすい」と完食していました。

親子で楽しむ手話教室 手話で自己紹介ができるようになりました



市は、手話の普及に向けて、毎年手話教室を開催しています。2月11日には、中央公民館で親子向けの教室を開催しました。この日は、あいさつや家族、「好き」「楽しい」などの手話単語を学び、簡単な会話ができるようになりました。途中、講師から自分の名前の手話を教わると、参加者は何度も練習して覚えていました。

渋川まちなかうたごえサロン 音楽を通じた交流で地域の活性化を図る

2月20日に市民会館のホワイエで、渋川まちなかうたごえサロンが行われました。新型コロナ対策がされた会場では、第1部として、生演奏に合わせて参加者が懐かしの名曲を合唱。第2部では、ギター界のレジェンド吉川忠英さんのライブが行われ、巧みなギター技術と魅力的な歌声に、歓声代わりの拍手が鳴り響きました。



提案型市民協働事業 渋川アートリラ2020in伊香保 地域の民話をさまざまな芸術手法で表現



3月13日と14日に、渋川子ども若者未来創造プロジェクト主催の「渋川アートリラ2020in伊香保」が開催されました。これは、伊香保の旅館や店舗5カ所を会場にして、地域と人を各種芸術でつなぐイベント。地域の民話を題材に市民が制作した書や漫画、こけしなどの作品展示のほか、伝承語りの実演やオンライン制作によるオリジナルミュージカルの上映会などが行われました。



小野上公民館の成人学級「スマホ教室」 スマホを使って離れた人とも交流を



2月26日に小野上公民館で、成人学級スマホ教室が開催されました。今回の教室では、アプリのLINEを使って離れた人と交流する方法を勉強。LINEに馴れている人も、そうでない人も、講師の話聞きながら一緒にスマホを操作し、新たなコミュニケーション手段を学んでいました。

第一保育所の親子交通安全教室 親子で道路の歩き方を再確認



3月8日に第一保育所で、親子交通安全教室が行われました。園児たちは、これまで学んできた交通安全についての決まり事を守りながら、保護者と実際の道路を通行。間近で見る車の迫力に驚きながらも、しっかりと左右を確認し、元気よく手を上げながら横断歩道を渡っていました。

伊香保こども園の「お店やごっこ」 楽しみながらお金の使い方を学ぶ

2月18日と19日に伊香保こども園で、お店やごっこが開催されました。年長のらいおん組園児が銀行や0～2歳児のサポート役を、3歳以上の園児が店員役を交替で務め、園児たちが作った商品を販売しました。買い物の参加者は、銀行から100円玉2枚とゲーム券を受け取り、お店やごっこを楽しんでいました。

